

1 調査名称：館林市総合都市交通体系調査

2 調査主体：館林市

3 調査圏域：群馬県館林市（両毛都市圏）

4 調査期間：平成24年度

5 調査費： 6,900千円  
(総合都市交通体系調査)

6 調査概要：

本市では平成23年度より第五次総合計画をスタートさせ、集約型都市構造の検討による人と人の交流できるまちなかの活性化を目指すとともに、市内の幹線道路網を体系的に整備することにより、円滑な道路ネットワークを確立させ、多様な交通手段への転換の促進による安全で便利な環境負荷の少ない交通体系の構築を目指しており、これまでの量的充足から質的充足を目指す道路整備への転換を進めている。

本調査では、未着手となっている都市計画道路を対象に社会経済情勢の変化や土地利用の変化、今後の人口減少の見通しを踏まえ、今後の道路整備のあり方を見直すため、都市計画道路の見直しの方針を定めるとともに、道路整備プログラムの策定を行う。

また、平成25年度より見直しを予定している館林市都市計画マスタープランにおける、「交通施設の都市計画の決定の方針」を定めるための施設配置や整備の方針として本調査結果を利用していくとともに、交通マスタープランの見直しや総合交通戦略の策定を進めていくための基礎となる調査である。

7 調査担当：館林市役所都市建設部都市計画課計画係 杉浦孝臣

TEL：0276-72-4111

E-mail：toshikei@city.tatebayashi.gunma.jp

## I 調査概要

### 1 調査名：館林市総合都市交通体系調査

### 2 報告書目次

#### 1. 業務概要

1－1. 業務の目的

1－2. 業務対象範囲

1－3. 業務のフロー

#### 2. 道路網現況と関連計画の把握

2－1. 社会情勢の把握

2－2. 道路交通状況の把握

2－3. 関連計画の把握

#### 3. 道路網の課題把握

3－1. 道路ネットワーク機能および道路空間サービス機能の課題

#### 4. 将来都市像等の整理

4－1. 将来都市像、まちづくりの目標等の整理

4－2. 都市計画道路見直しの背景の整理

#### 5. 検討対象路線の抽出

5－1. 抽出方法等の設置

5－2. 検討対象路線の抽出

5－3. 検討対象区間の抽出

#### 6. 路線の検証

6－1. 定量的評価の実施

6－2. 定性的評価の実施

#### 7. 見直し（案）の作成

7－1. 対応方針の検討

7－2. 将来道路網の影響検討

7－3. 見直し（案）の作成

#### 8. アンケート調査の実施

8－1. アンケート調査実施計画

8－2. アンケート調査結果の整理

#### 9. 検討委員会

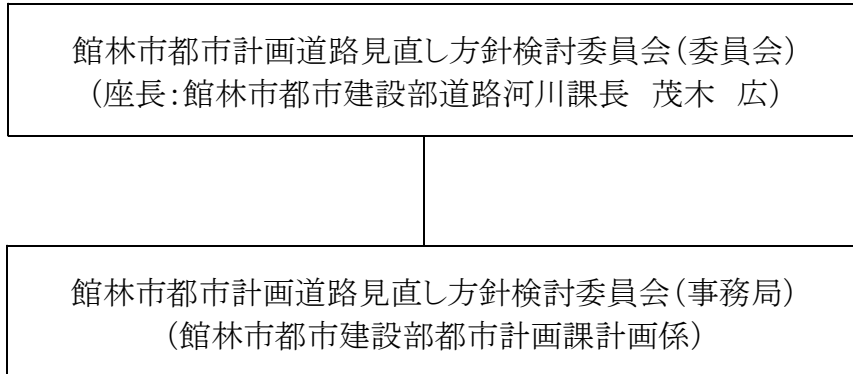
9－1. 第1回検討委員会

9－2. 第2回検討委員会

9－3. 第3回検討委員会

【参考資料】評価カルテ（案）

## 3 調査体制



## 4 委員会名簿等：

区分	所 属			
1	関係団体	館林市区長協議会	副会長	野村 和利
2		一般社団法人 群馬県バス協会	会長	小暮 達也
				岩岸 実
3	社団法人 群馬県トラック協会	館林支部長	谷田川 敏幸	
4	関係行政機関	館林警察署	交通課長	有間 功
5		群馬県県土整備部	都市計画課次長	松岡 利一
6		群馬県東部県民局	館林土木事務所次長	常見 佳人
7	館林市	政策企画部	企画課長	中里 克己
8		都市建設部	道路河川課長	茂木 広
9			緑のまち推進課長	橋本 晃
10			建築課長	岩崎 浩一
11			区画整理課長	岡部 和夫
12	環境水道部	水道課 工務係長	浅野 康彦	

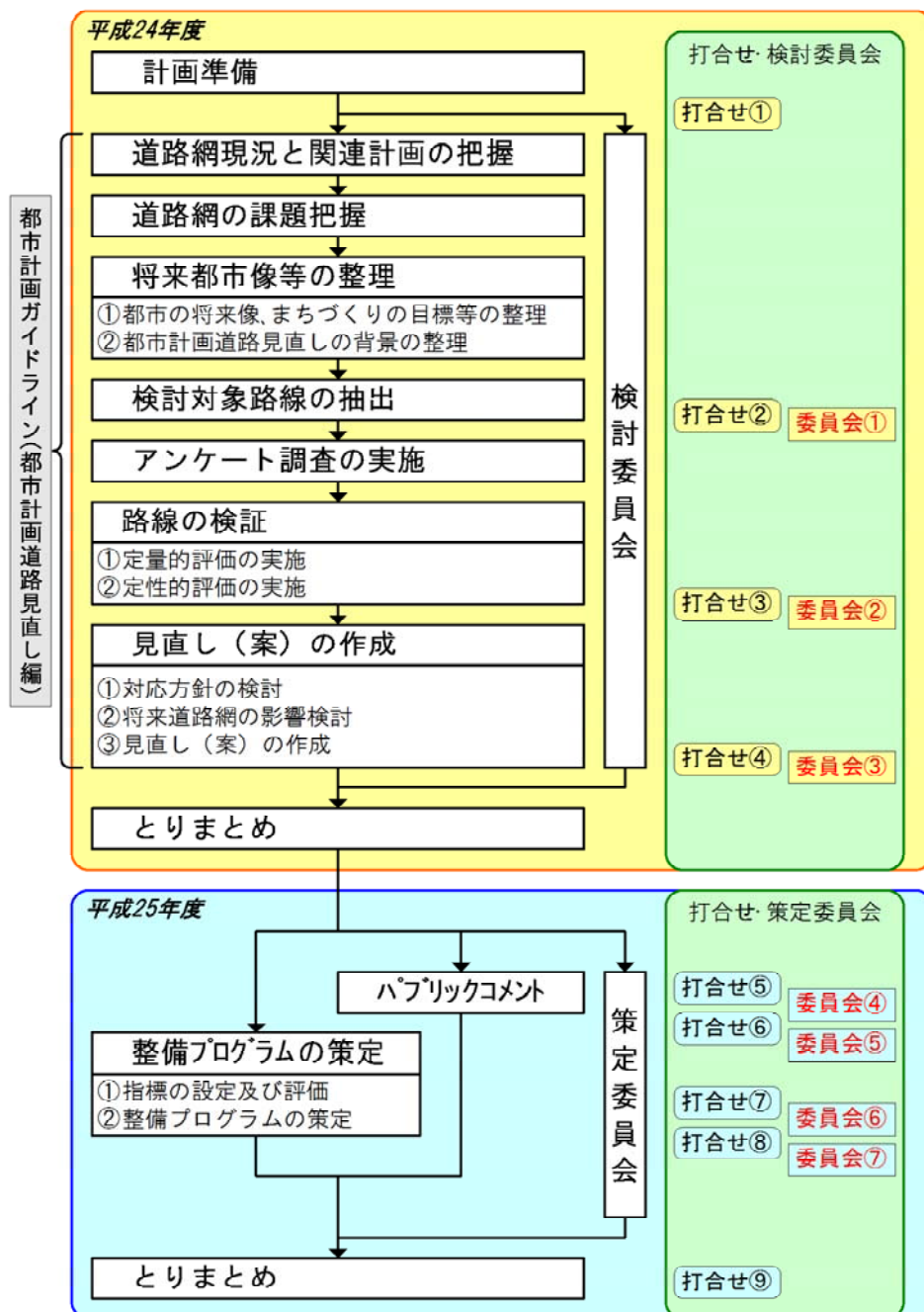
事務局	館林市	都市建設部	都市計画課長	小島 孝一
			都市計画課計画係長	中里 昭彦
			主任	杉浦 孝臣
			主任	福田 心也
			技師補	川田 真理絵

## II 調査成果

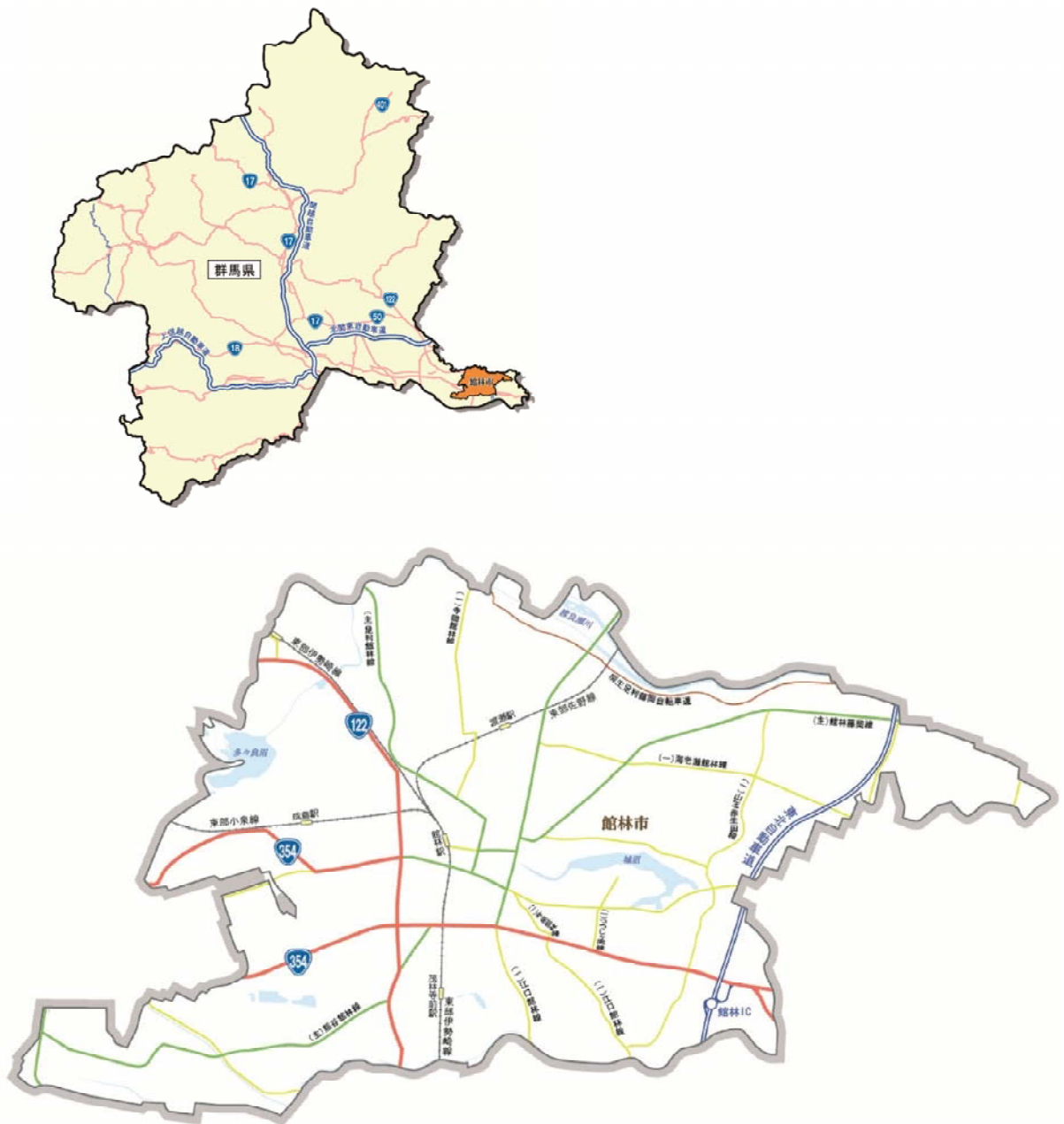
### 1 調査目的

本調査では、未着手となっている都市計画道路を対象に社会経済情勢の変化や土地利用の変化、今後の人口減少の見直しを踏まえ、今後の道路整備のあり方を見直すため、都市計画道路の見直しの方針を定めるとともに、館林市の道路整備プログラムを作成することを目的とする。

### 2 調査フロー



### 3 調査圏域図



## 4 調査成果

### (1)道路網現況と関連計画の把握

館林市内の道路網の整備状況、交通状況等を整理するとともに、道路整備計画や市街地開発計画等の関連計画を整理し、各道路の位置づけを検討・整理した。

#### ■社会情勢の把握

- 【人口】
- 昭和45年以降、緩やかに増加、平成22年で約7.9万人
  - 平成42年の予測人口は、1万人減少の約6.9万人
  - 中心市街地、市の外縁部で人口減少、中心市街地の外縁、区画整理事業箇所等では人口増加
  - 昭和45年以降、老年人口は増加、平成22年で老年人口が約23%
  - 平成42年では、年少人口が約11%、老年人口が約30%と少子高齢化が進行
  - 第1次、第2次就業人口が減少、第3次就業人口は増加傾向
  - 市内通勤者が全体の6割、太田市、邑楽町、佐野市、足利市、板倉町、明和町の隣接都市の通勤流動が多い
  - 市内通学者(15歳以上)は、3割程度、太田市、埼玉県の通学流動が多い
- 【市街地(DID)】
- DID地区面積は、平成22年で約9.4km<sup>2</sup>で昭和45年より約2.5倍に拡大
  - DID地区人口密度は、平成22年で約4.1千人/km<sup>2</sup>、昭和45年の約6割
  - DID地区は、国道122号、国道354号、(主)佐野野行田線沿線等で拡大
- 【産業】
- 農産物産出額は、減少傾向にあり、平成18年では平成8年より約3割減少
  - 製造品出荷額は、増加傾向にあり、平成22年では平成8年より約4割増加、一方、事業所数が減少傾向にあり、事業所の大型化が進行
  - 商品販売額は、増加傾向にあり、平成19年では平成9年より約5割増加、一方で事業所数は減少傾向にあり、店舗の大型化が進行
  - 観光入込客数は、増加傾向にあり、東日本大震災以前の平成22年では平成7年の約2倍に増加
- 【その他(自動車保有台数)】
- 平成7年以降増加、平成21年では約6.2万台で平成7年より約2割増加

#### ■関連計画の把握

- 【道路整備計画】
- 〔群馬がはばたくための7つの交通構想〕
- 国道354号、国道122号は、高速道路網を補完する交通軸として位置づけ(館林都市圏総合都市交通体系調査)
  - 館林環状道路は、市街地内道路の混雑解消を図る環内道路として位置づけ
  - 館林南部環状線は、国道354号の補完する機能
  - (仮)北部東西幹線は、館林都市圏北部の東西交通の強化として位置づけ
- 〔都市計画区域マスタープラン〕
- 3・3・1号南部幹線、3・3・4号五号線は、広域交通の処理する路線として位置づけ
  - 3・3・3号青柳広内線、3・3・13号東部環状線は、市街地の通過交通を処理する路線として位置づけ
  - 3・3・16号122号線は、都市間連携強化を図る路線として位置づけ
  - 3・4・14号館林邑楽線、3・4・5号板倉館林線、3・4・7号西部一号線は、都市間連携強化を図る路線として位置づけ
- 〔都市計画マスタープラン〕
- 国道354号、国道354号ハイパスは、主要な自動車交通を受け入れる機能を有する東西軸として位置づけ
  - (主)佐野野行田線は、南北の隣接都市を連結する軸であり、市街地を縦断する幹線道路として位置づけ
  - (都)122号線、(都)青柳広内線、国道122号は、隣接都市を結ぶ南北の連携軸としての広域幹線道路であり、また、(都)東部環状線、南部環状線(構想)を加え、市街地部の都市間の通過交通を処理し環状道路としての機能を有する幹線道路として位置づけ
  - (都)板倉館林線、(都)館林邑楽線は、並行する国道354号を補完しつつ、都市内連携を支援する幹線道路として位置づけ
  - (都)西部一号線は、中心部における都市活動を支える軸として位置づけ
  - (主)佐野野行田線、(都)大手町大道線、(都)西部一号線、(都)板倉館林線は、コミュニティ外周道路として位置づけ
- 【市街地開発計画】
- 〔土地区画整理事業〕
- 館林駅西側で土地区画整理事業が整備中
- 【館林市地域防災計画】
- 〔緊急輸送道路〕
- 東北自動車道、国道122号、国道354号、(主)前橋館林線、(主)佐野野行田線、(主)館林藤岡線、(主)足利邑楽行田線、(一)古戸館林線、(一)江口館林線、(一)除川板倉線は、緊急輸送道路として位置づけ

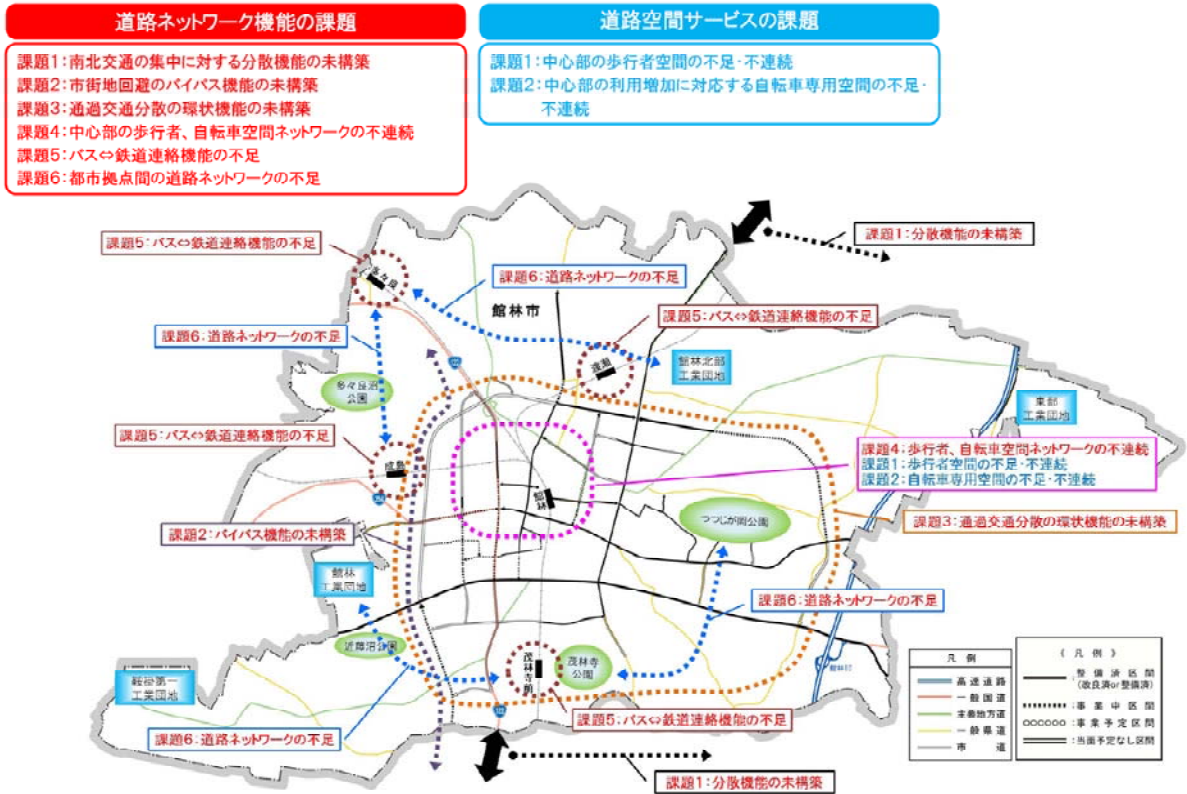
#### ■道路交通状況の把握

- 【道路整備状況(一般県道以上)】
- 東西の国道354号、南北の(主)佐野野行田線で4車線、他路線は2車線
  - 館林駅周辺や国道354号等の幹線道路で、歩道設置延長率が高い
  - (主)前橋館林線や郊外部の幹線道路(一般県道)では歩道設置延長率が低い
  - 歩道と同様に、館林駅周辺や国道354号の幹線道路で、自転車歩行者道設置延長率が高い
  - 鉄道駅より遠方の南西部では、自転車歩行者道設置延長率が低い
- 【道路整備状況(都市計画道路)】
- 都市計画道路28路線のうち、12路線は完了および完了予定
  - 木着手の路線は、(都)高根大道線、(都)南部環状線の2路線
  - 4車線路線は、(都)南部幹線、(都)青柳広内線、(都)122号線の3路線
  - (都)車部環状線は、暫定2車線で整備予定
  - 館林駅周辺の(都)中央通り線、(都)本町通り線、(都)大手町大道線、(都)館林駅前通り線、歩道及び自転車空間の確保が可能な幅員
  - 混雑している南北の隣接都市を結ぶ(都)五号線は、概ね完成
  - 館林駅西側に当面整備予定のない区間が集中
  - 館林駅東側周辺にも当面整備予定のない区間が存在するが、環道のある箇所が多い
- 【交通状況(道路利用、交通需要、バス路線)】
- 道路利用
- 南北の隣接都市を結ぶ国道122号、(主)佐野野行田線、東西の隣接都市を結ぶ国道354号で、約2万台/日と多い
  - 館林市中心部の南北方向の国道122号、(主)佐野野行田線で混雑度が1.5以上
  - 館林市中心部の東西方向の国道354号でも混雑度1.0以上区間が連続
  - 国道122号、(主)佐野野行田線の市境～館林市中心部や国道354号の館林市IC～館林市中心部で大型車混入率が20%以上
  - 館林駅周辺や中心部で旅行速度が20km/h未満、30km/h未満区間が多い
  - 郊外部では30km/h以上区間が多い
  - 歩行者は(一)館林停車場線で300人/12hと多いが、その他路線では100人/12h未満
  - 館林駅周辺で自転車交通量が多く、特に(主)館林藤岡線では約350台/12h
  - 館林市内では、総じて歩行者よりも自転車の交通量が多い
- 交通需要
- 発生集中交通量は、館林市1区で10万回/日以上、館林市2区、3区では5万回/日以上
  - 平成17年～平成42年では館林都市圏全体で減少
  - 都市間需要では、太田市、邑楽町、板倉町、明和町で1万T.E/日以上、千代田町、足利市、佐野市で0.5万T.E/日以上
  - 平成17年～平成42年で隣接都市間需要は全て減少
- バス路線
- 館林駅を中心に8路線が運行、館林・板倉線、多々良巡回線、渡瀬巡回線では10本/日(平日)以上で市民の重要な公共交通機関
  - 路線バスと鉄道の結節は館林駅のみで、利便性の低い公共交通体系
- 【交通事故】
- 市全体で1,278件/4年、交通量の多い国道122号、国道354号、(主)佐野野行田線や駅周辺の(主)館林藤岡線、(主)前橋館林線が多い
  - 車間相互が大半、特に追突、出会い頭が多い
  - 自転車事故は、178件/4年で歩行者事故の63件/4年の約3割
  - 歩行者事故は館林駅周辺の(主)館林藤岡線、(主)前橋館林線が多く、自転車事故は国道122号、(主)佐野野行田線でも多い



## (2)道路網の課題把握

道路網現況と関連計画における道路の位置づけを踏まえ、ネットワーク形成や交通流動、まちづくり、社会情勢との整合等の視点から、現状の道路網に対する道路ネットワーク機能及び道路空間サービスの課題（課題位置）を検討・整理した。



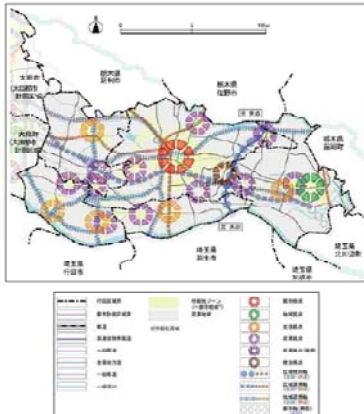
## (3)将来都市像等の整理

### ①将来の都市像、まちづくりの目標等の整理

都市計画区域マスタープランや都市計画マスタープランなどの上位計画における将来都市像やまちづくりの目標等を整理した。

#### ■都市計画区域マスタープラン

- 目標年次：平成37年
- 交流拠点としてのまちづくり**  
合理的な土地利用及び都市施設の変更による商業・業務機能の拡充・集積を図るとともに、主要な交流拠点として駅前周辺等の整備を進めることで、本県東部の玄関にふさわしい交流拠点の形成を進める。
  - ゆとりある暮らしを育むまちづくり**  
県域市域において、これまでの計画的な土地利用を促進するとともに、土地利用の都市化及び都市施設の充実を進め、良好な居住環境の形成を図る。
  - 身近な自然がいまづくまちづくり**  
郊外部の集積等においては、コミュニティの維持・増進及び良好な居住環境の形成を支援するための生活関連施設の充実を図るとともに、優良農地については保全を図る。



#### ■都市計画マスタープラン

目標年次：平成37年

*「街並みと自然が調和した 公営文化都市たてばやし」*

**都市づくりの目標**

【目標1】賑わいのある中心市街地、閑静な周辺住宅地、美しい田園地帯が共存する都市の形成を目指します。  
中心市街地の再生、集積で良好な環境を持つ周辺住宅地の創出、そして美しい田園地帯や農用地の保全と活性化に努めることで、互いが共存しつつ発展していくような都市の形成を目指します。

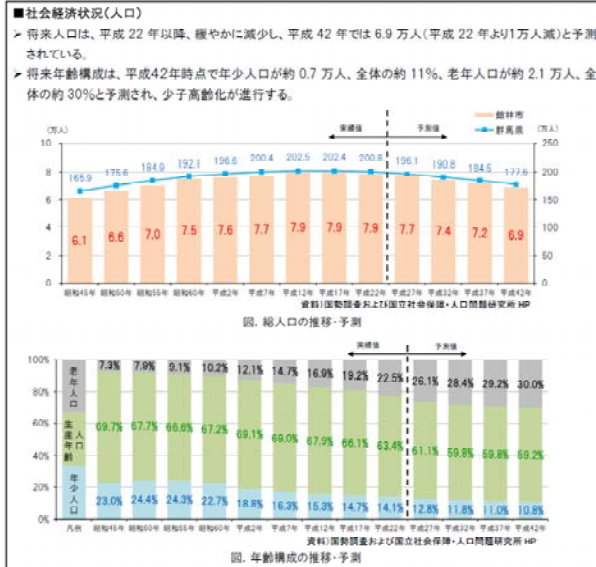
【目標2】市民の安全・安心を確保し、しかも便利で快適に暮らせる都市の形成を目指します。  
都市づくりの基本は、安全かつ安心で機能的な市街地の整備と、便利で快適に暮らせる駅前地区を形成していくことです。  
防災、防災、防災、交通事故などの災害や、犯罪から市民の生命と財産を守る。安全で安心して暮らせる都市の形成を目指します。  
適正な土地利用の誘導や各種都市施設の整備を総合的に展開し、利便性の高い都市の形成を目指します。  
市民の運動や健康の維持・増進を可能とするような環境づくり、福祉の都市づくりも目指します。

【目標3】恵まれた自然と城下町としての歴史をいかした都市の形成を目指します。  
賑わある都市にしたいためにも、豊かな自然や城下町の名残をいかしたやさしい空間形成が大切です。  
池田川沿川、公園、寺社など、比較的自然環境に恵まれた本市では、それらの資源を有効に活用し、より暮らしやすい環境を創出することを目指します。  
旧城下町の名残を感じさせる空間など、歴史ならではの歴史を継承し、美しい都市景観を生み出すことも目指します。

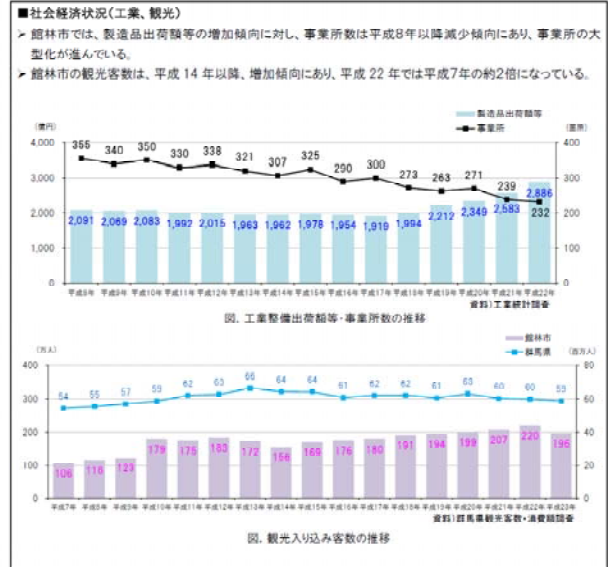
## ②都市計画道路見直しの背景の整理

社会情勢、関連計画に加え、将来の都市像のまちづくりの目標等の整理を踏まえ、都市計画道路見直しを実施する背景（必要性等）について整理した。

### 都市計画道路見直しの背景・必要性①



- 人口の減少に伴い、都市活力の低下が懸念される
- 人口の減少に伴う自動車交通需要の減少も見込まれる
- 高齢化の急激な進行も懸念される

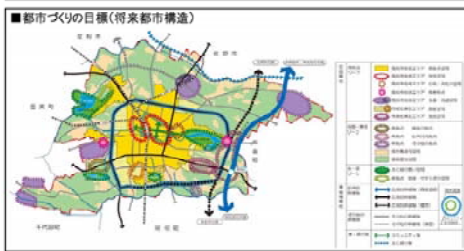


- 工業は、出荷額が堅調な伸びを示している一方で、事業所数は減少するなど、事業所の大規模化、集約化が進行している
- 観光は、近年、堅調な伸びにより、館林市の主要産業となりつつある

館林市では、都市活力の維持・向上を図り、高齢化や産業特性の変化等にも対応した都市政策(まちづくり)が必要です。

### 都市計画道路見直しの背景・必要性②

館林市では、将来の高齢化や産業特性の変化に対応するなど、都市環境の質を高める政策の誘導等による社会的人口増加を目指した将来のまちづくり方針(都市計画マスタープラン)を平成17年に策定しています。



- 『賑わいのある中心市街地、良好な住宅地、美しい田園地帯が共存する都市の形成』、『安全・安心を確保し、かつ便利で快適に暮らせる都市の形成』、『恵まれた自然と城下町の歴史をいかした都市の形成』の3つを都市づくりの目標としています。



- 市街地の通過交通を排除するための環状道路やバイパス道路など、将来のまちづくりに必要かつ重要な道路を示しています。



- 歩行者や自転車にとって、安心・安全で、快適な将来のまちづくりに必要かつ重要な道路(自転車ネットワークなど)を示しています。



- 歩行者、自転車の多い館林駅周辺の中央地域では、中心市街地としての賑わいを創出するために必要かつ重要な道路を示しています。

- ◇ 館林市では、人口の減少や高齢化、産業特性の変化等が予測される中、質の高い都市環境を形成し、社会的人口増加を誘導するまちづくりを目指しています。
- ◇ 館林市の将来のまちづくりの方針は、都市計画マスタープランにおいて、都市全体の構想に加え、都市の骨格を担う道路に関する方針も示されています。
- ◇ 限られた財源の下、将来のまちづくりの実現にあたっては、選択と集中による効率的かつ効果的な投資が必要かつ重要です。

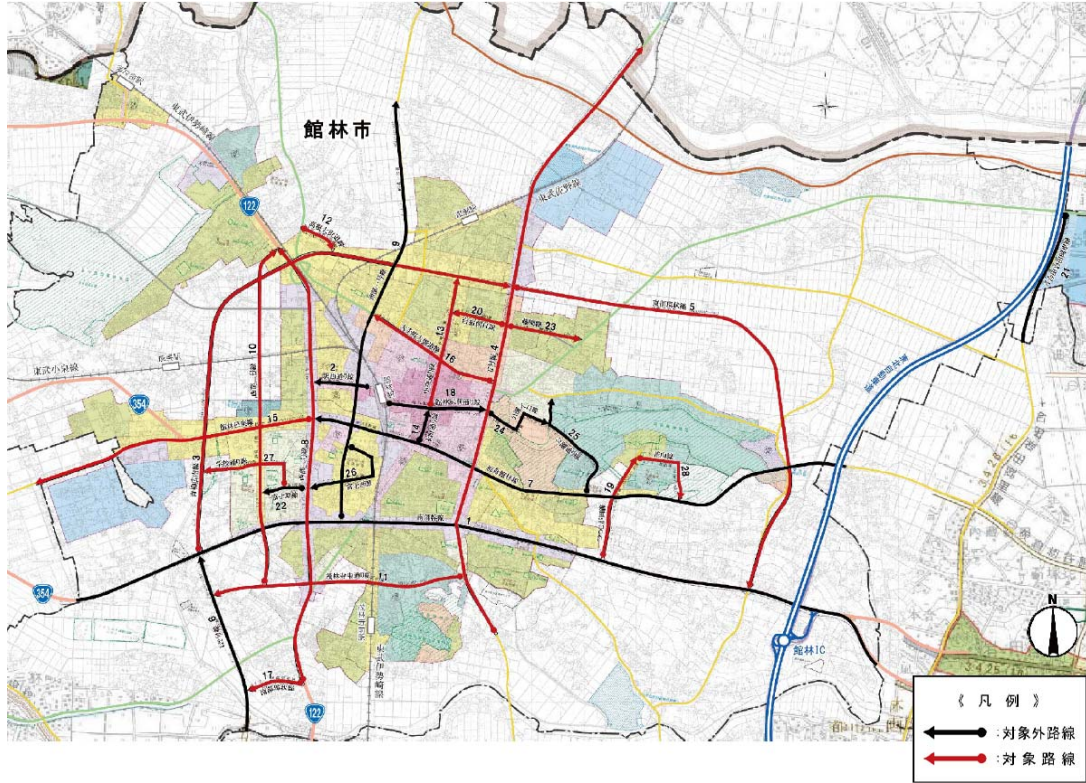
以上から、館林市では、平成24年度、平成25年度の2箇年にかけ、将来のまちづくりの実現に向けて真に必要な都市計画道路を検証し、市民の意見等も踏まえた上で都市計画道路の見直し方針を策定します。



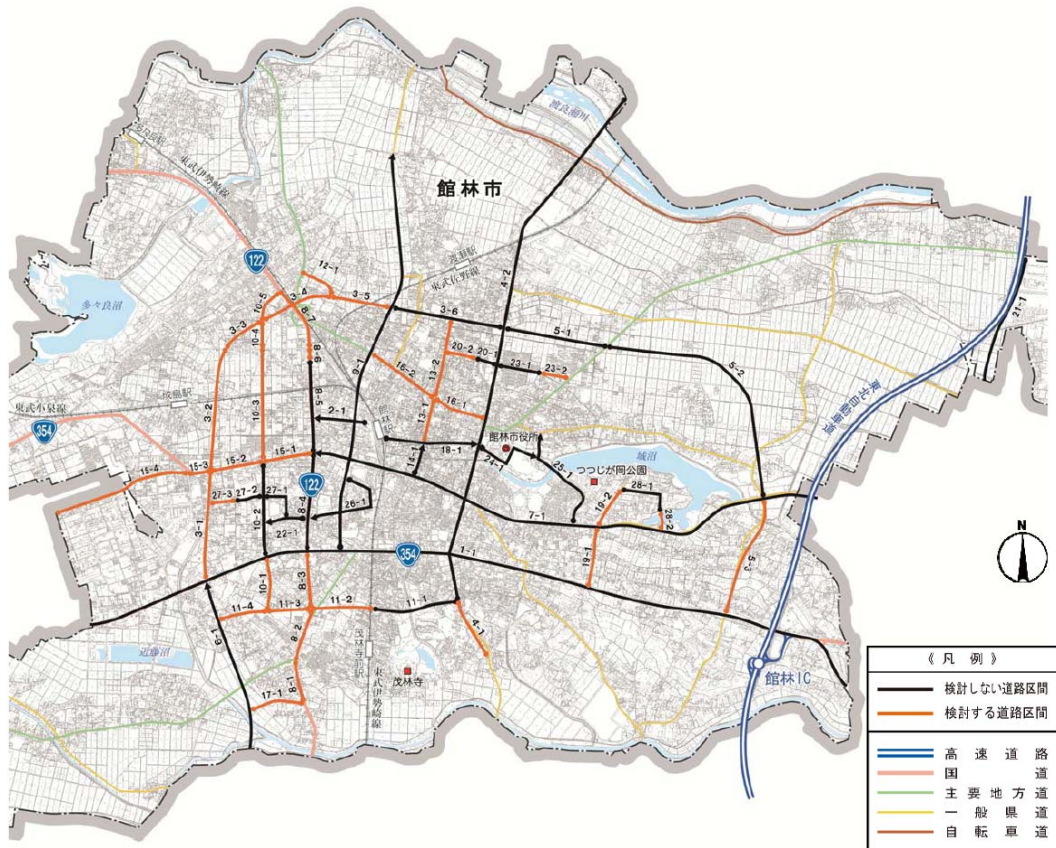
#### (4) 検討対象路線の抽出

都市計画ガイドラインを参考に対象路線の抽出基準を設定し、本調査の都市計画道路見直し検討対象路線・区間を抽出。

##### ■検討対象路線の抽出結果



##### ■検討対象区間の抽出結果



# (5) アンケート調査の実施

## ■調査概要

- (1) 調査目的
 

道路整備等に対する市民意見を広く収集するための定量的評価項目の比較を目的としたアンケート調査を実施する。調査結果については、市民意見（ニーズ）をAHP手法（階層分析手法）を用いて重み付けを行う。
- (2) 調査期間
 

Web 調査期間：事前調査）平成 24 年 11 月 20 日（火）～平成 24 年 11 月 22 日（木）  
 本調査）平成 24 年 11 月 22 日（木）～平成 24 年 11 月 29 日（木）  
 シルバー人材センター提出日：平成 24 年 11 月 14 日（水）  
 回収期限：平成 24 年 12 月 10 日（月）
- (3) 調査対象
 

アンケート調査対象は、館林市居住者とする。
- (4) 調査方法
 

アンケート調査方法は、webアンケート調査を基本とし、属性（年齢）の偏りをなくするため館林市シルバー人材センターへのアンケート調査票を配布（400 部）し、補充する。
- (5) 調査内容
 

調査内容は、「都市計画ガイドライン（都市計画道路の見直し編）平成 18 年 6 月群馬県土整備局都市計画課」に準拠し、以下の項目とする。

【調査内容】

  - 個人属性
  - 大項目比較
  - 中項目比較（大項目の再分類）

## ■Webアンケート票

館林市の道路(都市計画道路)整備に関するアンケート

下記アンケートにご協力をお願いします。

当アンケートの回答者の皆様へお礼!

アンケートの内容が必ず当アンケートで処理されることには、決して同意しないものとさせていただきます。ご了承ください。

館林市のまちづくりを支援する道路の整備に関する大きな視点について、どちらがどの程度重要と考えるか、あなたの考えに近い場所を○を記入して下さい。【必須入力】

左側	1 かなり重要	2 重要	3 やや重要	4 重要でない	5 全く重要でない	右側
① 活かや賑わいを創出する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	② 人と環境にやさしい
② 活かや賑わいを創出する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	③ 文化・自然・景観を活かす
③ 活かや賑わいを創出する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	④ 安全で安心して暮らす
④ 活かや賑わいを創出する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	⑤ 地域交流を促進する
⑤ 人と環境にやさしい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	⑥ 文化・自然・景観を活かす
⑥ 人と環境にやさしい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	⑦ 安全で安心して暮らす
⑦ 人と環境にやさしい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	⑧ 地域交流を促進する
⑧ 文化・自然・景観を活かす	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	⑨ 安全で安心して暮らす
⑨ 文化・自然・景観を活かす	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	⑩ 地域交流を促進する
⑩ 安全で安心して暮らす	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

館林市のまちづくりを支援する道路の整備の大きな視点である「活かや賑わいを創出する」について、どちらがどの程度重要と考えるか、あなたの考えに近いものを○を記入して下さい。【必須入力】

左側	1 かなり重要	2 重要	3 やや重要	4 重要でない	5 全く重要でない	右側
①-1 交通渋滞の緩和・解消	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①-2 都市再生・拠点形成の推進
①-1 交通渋滞の緩和・解消	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	②-1 地域産業(観光)の活性化
②-1 交通渋滞の緩和・解消	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	②-2 地域産業(観光)の活性化
②-2 都市再生・拠点形成の推進	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	③-1 地域産業(観光)の活性化
③-1 交通渋滞の緩和・解消	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	③-2 地域産業(観光)の活性化
③-2 都市再生・拠点形成の推進	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	④-1 地域産業(観光)の活性化
④-1 交通渋滞の緩和・解消	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	④-2 地域産業(観光)の活性化
④-2 都市再生・拠点形成の推進	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
⑤-1 交通渋滞の緩和・解消	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
⑤-2 都市再生・拠点形成の推進	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
⑥-1 交通渋滞の緩和・解消	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
⑥-2 都市再生・拠点形成の推進	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

館林市のまちづくりを支援する道路の整備の大きな視点である「人と環境にやさしい」について、どちらがどの程度重要と考えるか、あなたの考えに近いものを○を記入して下さい。【必須入力】

左側	1 かなり重要	2 重要	3 やや重要	4 重要でない	5 全く重要でない	右側
①-1 誰もが安心して自転車利用できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	②-2 歩行者にやさしい道づくり
①-1 誰もが安心して自転車利用できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	③-3 公共交通(鉄道・バス)を支える道路
②-1 誰もが安心して自転車利用できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
②-2 歩行者にやさしい道づくり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
③-1 誰もが安心して自転車利用できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
③-2 歩行者にやさしい道づくり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## ■シルバー人材センターアンケート票

館林市の道路(都市計画道路)整備に関するアンケート調査

■アンケートの概要  
館林市のまちづくりを支援する道路の整備について、重要と考えることを中項目より選択して頂きます。

**大項目**

①活かや賑わいを創出する

②人と環境にやさしい

③文化・自然・景観を活かす

④安全で安心して暮らす

⑤地域交流を促進する

**中項目**

①-1 交通渋滞の緩和・解消

①-2 都市再生・拠点形成の推進

①-3 地域産業(観光)の活性化

①-4 地域産業(観光)の活性化

②-1 誰もが安心して自転車を利用できる

②-2 歩行者にやさしい道づくり

②-3 公共交通(鉄道・バス)を支える道路

③-1 優れた景観の保全と活用

④-1 災害に強いまちづくり

⑤-1 都市(圏域)間連携の推進

【設問0】個人属性  
あなたご自身について、該当するものを○で囲んで下さい。

性別： 男性 ・ 女性  
年齢： 60代 ・ 70代以上

【設問1】全体比較  
館林市のまちづくりを支援する道路の整備に関する大きな視点(大項目)ごとの程度重要と考えるか、あなたの考えに近い場所に○を記入して下さい。

	かなりの重要	重要	やや重要	重要でない	全く重要でない
①活かや賑わいを創出する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②人と環境にやさしい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③文化・自然・景観を活かす	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
④安全で安心して暮らす	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【設問2】①活かや賑わいを創出する中項目比較  
館林市のまちづくりを支援する道路の整備の大きな視点(大項目)である「①活かや賑わいを創出する」に関する中項目について、どちらがどの程度重要と考えるか、あなたの考えに近い場所に○を記入して下さい。

	かなりの重要	重要	やや重要	重要でない	全く重要でない
①-1 交通渋滞の緩和・解消	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
①-2 都市再生・拠点形成の推進	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
①-3 地域産業(観光)の活性化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
①-4 地域産業(観光)の活性化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【設問3】②人と環境にやさしい中項目比較  
館林市のまちづくりを支援する道路の整備の大きな視点(大項目)である「②人と環境にやさしい」に関する中項目について、どちらがどの程度重要と考えるか、あなたの考えに近い場所に○を記入して下さい。

	かなりの重要	重要	やや重要	重要でない	全く重要でない
②-1 誰もが安心して自転車利用できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②-2 歩行者にやさしい道づくり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②-3 公共交通(鉄道・バス)を支える道路	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

裏面の設問

アンケートは以上です。  
ご協力ありがとうございました。



## ■アンケート調査結果

### (1) 回答数

#### ① web

回答数	150
-----	-----

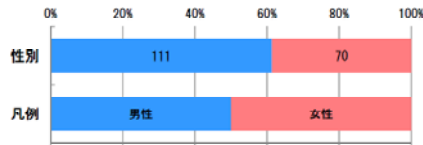
#### ② シルバー人材センター

配布枚数	400
回答数	31
回収率	8%

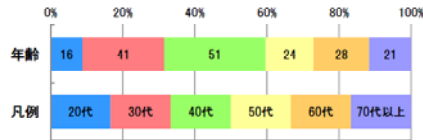
### (2) 調査集計結果・整理

#### 1) 個人属性

##### ① 性別



##### ② 年齢

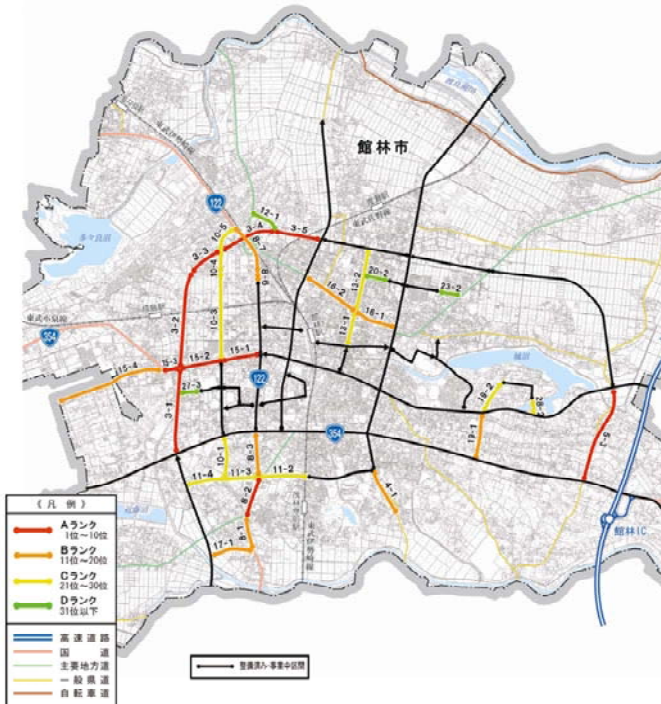


## ■AHP手法による評価項目の重み付け結果

	交通渋滞の緩和・解消	都市再生・拠点形成	地域産業(観光)の活性化	地域産業(工業)の活性化	自転車も安心して利用できる	やさしい道づくり	公共交通(鉄道・バス)を支える道路	文化・自然・景観を活かす	安全で安心して暮らす	地域交流を促進する
重	0.042	0.037	0.042	0.049	0.060	0.063	0.045	0.201	0.280	0.180

## (6) 路線の検証

- ✓ 環状道路である(都)東部環状線、(都)青柳広内線、東西を結ぶ国道354号を補充する(都)館林色業線は、Aランクと高い評価である。
- ✓ 環状道路の一部である(都)南部環状線、南北軸の(都)西部二号线、中央地域の(都)大手町大街道線等は、Bランクである。



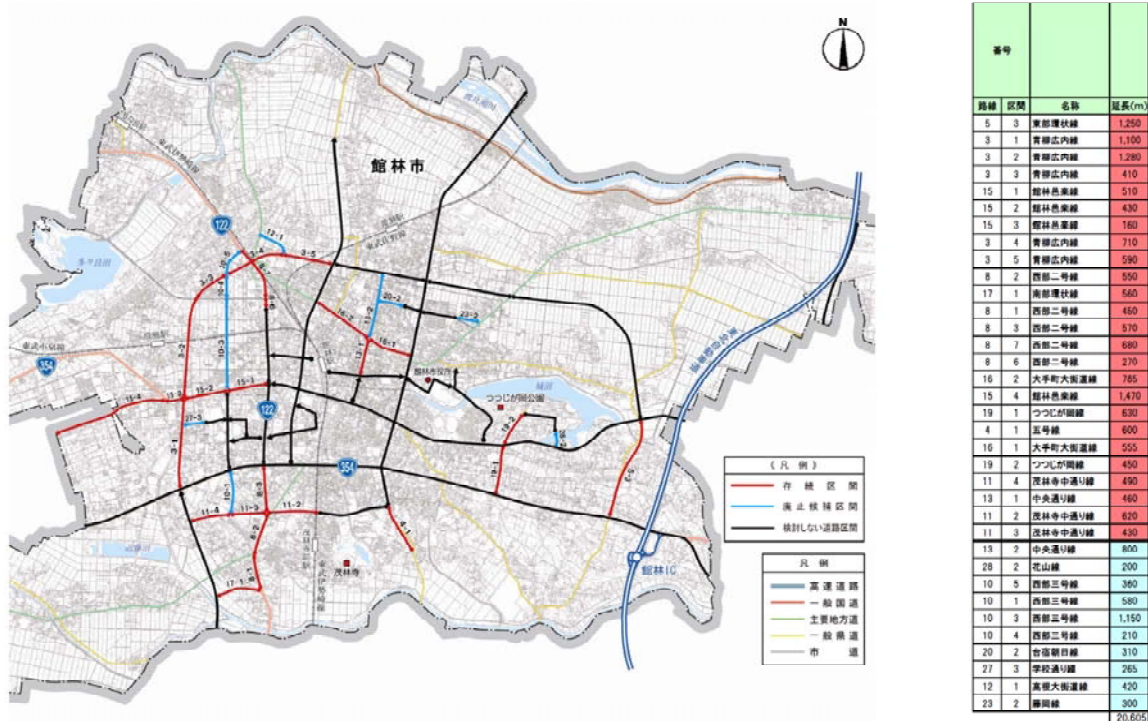
路線	区間	名称	評価項目										評価点	順位
			交通渋滞の緩和・解消	都市再生・拠点形成	地域産業(観光)の活性化	地域産業(工業)の活性化	自転車も安心して利用できる	やさしい道づくり	公共交通(鉄道・バス)を支える道路	文化・自然・景観を活かす	安全で安心して暮らす	地域交流を促進する		
4	3	東部環状線	-	-	-	-	6.3	4.6	20.2	28.0	18.0	77.0	1	
3	1	青柳広内線	4.2	-	-	-	4.5	20.2	28.0	18.0	74.9	2		
2	2	青柳広内線	4.2	-	-	-	4.5	20.2	28.0	18.0	74.9	2		
3	3	青柳広内線	4.2	-	-	-	4.5	20.2	28.0	18.0	74.9	2		
15	1	館林色業線	4.2	-	-	4.9	6.0	6.3	4.5	-	28.0	18.0	71.9	5
15	2	館林色業線	4.2	-	-	4.9	6.0	6.3	4.5	-	28.0	18.0	71.9	5
15	3	館林色業線	4.2	-	-	4.9	6.0	6.3	4.5	-	28.0	18.0	71.9	5
3	4	青柳広内線	4.2	-	-	-	-	20.2	28.0	18.0	70.4	8		
3	5	青柳広内線	4.2	-	-	-	-	20.2	28.0	18.0	70.4	8		
8	2	西部二号线	4.2	-	-	6.0	6.3	4.5	-	28.0	18.0	67.0	10	
17	1	東部環状線	-	-	-	-	-	20.2	28.0	18.0	66.2	11		
8	1	西部二号线	4.2	-	-	6.0	6.3	-	-	28.0	18.0	62.5	12	
8	3	西部二号线	4.2	-	-	6.0	6.3	-	-	28.0	18.0	62.5	12	
8	7	西部二号线	4.2	-	-	6.0	6.3	-	4.5	-	28.0	18.0	60.7	14
8	6	西部二号线	4.2	-	-	6.0	6.3	-	-	28.0	18.0	56.2	15	
16	2	大手町大街道線	4.2	3.7	-	-	6.0	6.3	4.5	-	28.0	-	52.7	16
15	4	館林色業線	4.2	-	-	4.9	6.0	6.3	4.5	-	-	18.0	43.9	17
19	1	つがが環状線	-	-	4.2	-	6.0	6.3	4.5	20.2	-	-	41.2	18
4	1	宮前線	-	-	-	-	6.3	4.5	-	28.0	-	-	38.8	19
18	1	大手町大街道線	-	3.7	-	-	-	6.3	-	-	28.0	-	38.0	20
19	2	つがが環状線	-	-	4.2	-	6.0	6.3	-	20.2	-	-	36.7	21
11	4	沼津寺中通り線	-	-	4.2	-	-	4.5	20.2	-	-	-	28.9	22
13	1	中央通り線	4.2	3.7	4.2	-	6.0	6.3	4.5	-	-	-	28.9	22
11	2	沼津寺中通り線	-	-	4.2	-	-	-	20.2	-	-	-	24.4	24
11	3	沼津寺中通り線	-	-	4.2	-	-	-	20.2	-	-	-	24.4	24
10	2	中央通り線	-	-	-	-	-	6.3	4.5	-	-	-	10.8	26
29	2	花山線	-	-	-	-	-	6.3	4.5	-	-	-	10.8	26
10	5	西野三号线	4.2	-	-	-	-	6.3	-	-	-	-	10.5	28
10	1	西野三号线	4.2	-	-	-	-	6.3	-	-	-	-	8.7	29
10	3	西野三号线	4.2	-	-	-	-	6.3	-	-	-	-	8.7	29
10	4	西野三号线	4.2	-	-	-	-	6.3	-	-	-	-	8.7	29
20	2	南郷線	-	-	-	-	-	6.3	-	-	-	-	6.3	32
27	3	学校通り線	-	-	-	-	-	6.3	-	-	-	-	6.3	32
12	1	南郷大街道線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	34
23	2	藤原線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	34



## (7)見直し(案)の作成

検討対象区間について、「存続区間」、「変更候補区間」、「廃止候補区間」を設定し、都市計画道路の見直し(案)を作成。

### ■都市計画道路見直し(案)



### ■都市計画道路見直し(案)に対する課題

#### 国道354号の過重な交通処理機能

- 都市計画道路見直し(案)では、(都)東部環状線、(都)青柳広内線、国道354号により市街地に対する環状機能が構築される。
- これに伴い、国道354号では東西の広域交通処理機能に環状機能が付加されるため、交通処理機能が過重となる。

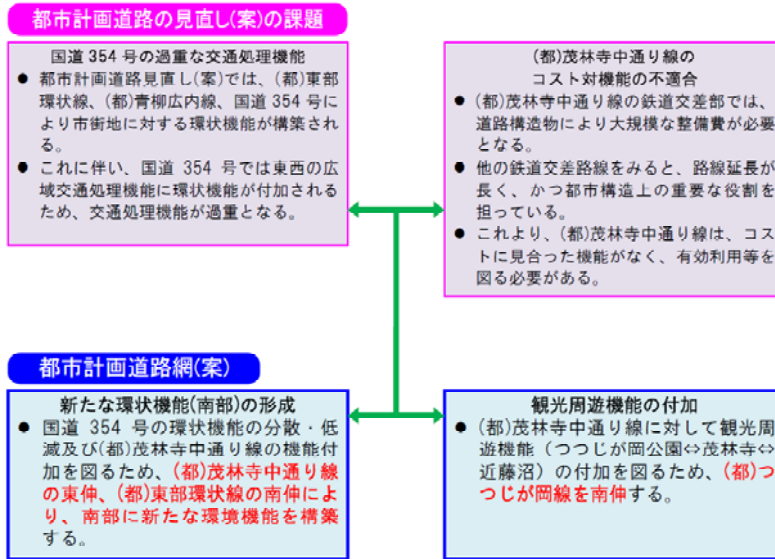
#### (都)茂林寺中通り線のコスト対機能の不適合

- (都)茂林寺中通り線の鉄道交差部では、道路構造物により大規模な整備費が必要となる。
- 他の鉄道交差路線をみると、路線延長が長く、かつ都市構造上の重要な役割を担っている。
- これより、(都)茂林寺中通り線は、コストに合った機能がなく、有効利用等を図る必要がある。



## (8) 都市計画道路網(案)の作成

都市計画道路見直し(案)の課題を踏まえ、都市計画道路網(案)〔新規都市計画道路(案)〕を検討した。



## 館林市の都市計画道路網(案)

